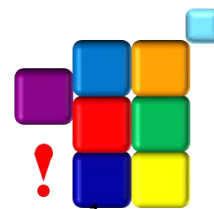


「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の 世界遺産登録に伴う入り込み観光動向等

平成29年11月8日 記者会見資料

九州運輸局



「運輸と観光で九州の元気を創ります」九州運輸局

本遺産は、「**神宿る島**」**沖ノ島**を崇拝する文化的伝統が、古代東アジアにおける活発な対外交流が進んだ時期に発展し、海上の安全を願う生きた伝統と明白に関連し今日まで継承されてきたことを物語る**稀有な物証**である。

沖ノ島には4世紀から9世紀の間の古代祭祀の変遷を示す**考古遺跡**が、ほぼ手つかずの状態です。現代まで残されてきた。

沖津宮、**中津宮**、**辺津宮**の古代祭祀遺跡を含むこれらの三つの場は、**宗像大社**という信仰の場として現在まで続く。

18世紀までに成立した**沖津宮遙拝所**は、上記で述べたような**沖ノ島**を遙拝する信仰の場である。そして、その信仰を担い育んだ**宗像氏**の存在を物語る**資産**が、**新原・奴山古墳群**である。



宗像大社辺津宮



宗像大社中津宮



宗像大社沖津宮遙拝所



沖ノ島

【関係年表】

平成21年暫定一覧表に記載

平成28年1月ユネスコへの推薦書提出にかかる閣議了解、同年同月推薦書の提出

平成28年9月7日～11日イコモス現地調査

平成29年5月イコモス勧告

平成29年7月9日第41回世界遺産委員会(クラクフ)において、世界遺産一覧表への記載が決定



新原・奴山古墳群

※上記文章・画像は、文化庁HP引用

当局における取組状況

福岡市、宗像市、太宰府市、鹿島市、杵岐市の5市からの提案によるVJ（ビジット・ジャパン）地方連携事業を活用した地域の魅力発信

◇事業名：「中国の富裕層に向けた“日本のココロ”を学び・体験するラグジュアリーツアー情報発信事業」

◇概要：**北京、上海から旅行社、KOL（Key Opinion Leader）、メディア計6名を招請し、「宗像大社」、「祐徳稲荷」、「月読神社」、「太宰府天満宮」など「日本のココロ」を形成してきた神道文化や歴史に触れ、学び、体験するスピリチュアルツアー**をPRする。また、**上海市内で、当該招請を踏まえたBtoB向け観光説明会・商談会を開催**する。

・招請日：平成29年9月12～15日、9月15～17日の2コース

・説明会・商談会開催日：平成29年11月28日

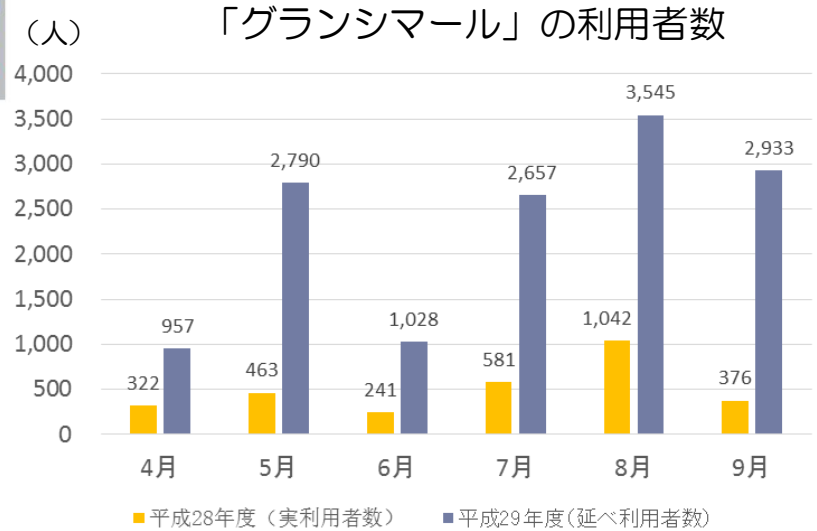
**インバウンド
誘客促進**

1. 大島における観光バス（グランシマール）の導入



- 玄関口である大島港渡船ターミナルから沖津宮遙拝所等観光スポットを巡るバス「グランシマール」を運行
- 世界文化遺産登録を記念して、平成29年8月より、車両に「海」をテーマにした特別仕様のラッピングを実施中
- 平成29年7月の世界文化遺産登録後は、運行回数を増やし、利用者数も大幅に増加（1日あたり約100名が利用）

※平成28年度までは無料バスを運行。



※利用者数の集計方法が、28年度と29年度では異なる。
実利用者1名あたり概ね2～3回利用する傾向。

運賃：1乗車300円、1日乗車券700円

便数：7往復（14便）

※11月までは毎日運行。12月～2月は土日祝日のみ運行

ターミナル、
物産直売店



沖津宮遙拝所



砲台跡

2. 宗像への路線バス事業の状況

- 天神～宗像間の路線バス（むなかた号）についても、平成29年度の利用者数は対前年同月比で1.5～2.1倍に増加

運賃：片道 1000円

便数：平日 3往復（6便） 土日祝 5往復（10便）

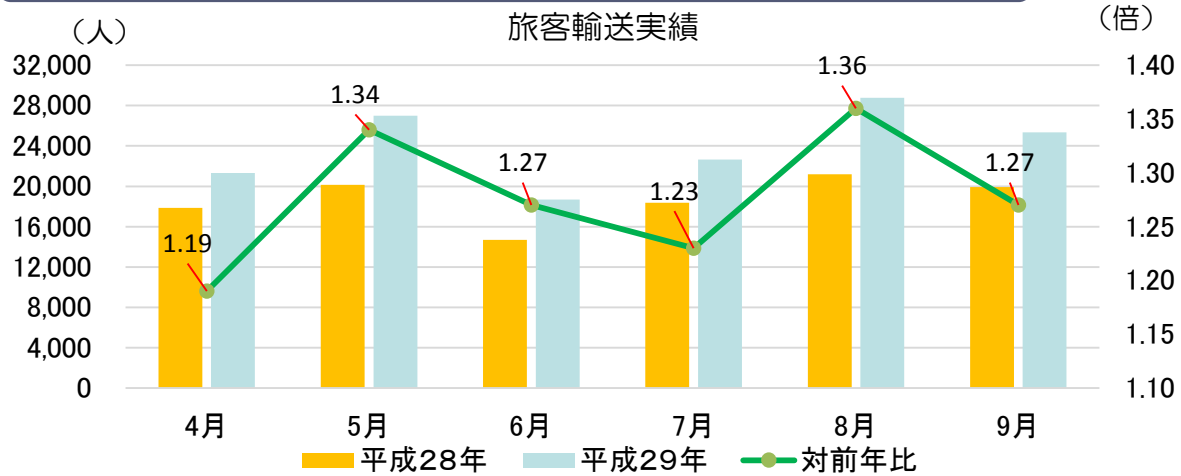
3. 大島におけるタクシー事業の状況

- 大島に営業所を持つタクシー事業者が1台の車両を運行。平成29年度の観光での利用者数は、対前年比1.4～3.2倍に増加し、半年（4～9月）で既に前年度実績を上回っている。
- 観光客の利用増が、大島における持続可能な事業運営、ひいては地域住民及び観光客の利便性の向上につながることを期待

世界遺産登録に伴う公共交通の利用状況(旅客船)

- 離島航路の輸送動向は、人口減少や少子高齢化により減少傾向。（福岡県内の離島航路は概ね2%程減少）
- 沖ノ島を望む大島では、宗像大社「中津宮」や「沖津宮遥拝所」が賑わっている。
- 宗像市が運航する航路（大島～神湊）は、平成29年7月の世界文化遺産登録後の利用者数は対前年比で1.2倍～1.3倍に増加しているとともに、この10月からは新船フェリーを投入、今後さらに利用者の増加が期待される。
- 宗像市は、神湊港と大島港のターミナルで、訪日外国人旅行者の移動利便性の向上を図るため、多言語表示（英語）や音声案内（日・英・中・韓）の整備を進めており、平成29年度末までに完成予定となっている。

○ 世界文化遺産効果により、昨年より輸送実績の増加。



運賃：560円
便数：7往復14便/日（うち、フェリー5往復10便）
乗船時間：フェリー25分、旅客船15分



○ 平成29年10月から新船フェリーを投入し、輸送力と快適性が向上。



旅客定員が211人から245人へ34人増加。バリアフリートイレ・車椅子席等のバリアフリー設備を設置。